

2017年4月22日(土) 倶進会

# 中国の対外政策と世界秩序 — 習近平政権の対外政策

---

川島 真(東京大学)

## 中国外交を見る目線

---

- 1) 中国の対外政策の意図は？
- 2) 世界秩序に対して挑戦するのか？
- 3) 東アジアで何をしようとしているのか。
- 4) 日中関係はどのようなになるのか？

## 中国の直面する多くの課題

---

- 中国共産党政権をいかに維持するか。正統性の問題。
- 1995年からの10年、2005年からの10年。
- Agingへの対処、労働人口の急激な減少、社会保障整備
- 経済構造の問題、TPPなど、新たな経済枠組みへの対応
- さまざまな社会格差、階層格差、地域間格差をどのように調整するか
- 環境問題など発展にともなう歪みをいかに改善するか
- 発展にともなって多様化した社会にいかに対応するか

## 習近平政権の評価

---

- 1) 胡錦濤政権から習近平政権へ: 連続性と変容
- 2) 集団指導体制の堅持と習近平の核心/地方での公共事業など
- 3) 相対的優位、だがレジリエンスの縮小。中国社会への多様化。
- 4) 人事という課題
- 5) 米中首脳会談: 習近平・国家主席、汪滙寧・党中央政策研究室主任(政治局委員)、汪洋・国務院副総理(政治局委員)、栗戰書・党中央弁公庁主任(政治局委員)、楊潔篪・国務委員、**房峰輝・人民解放軍連合参謀本部参謀長**、**何立峰・発展改革委員会主任**、劉鶴・中央財政領導小組弁公室主任、王毅・外交部長、鍾山・商務部長
- ▶ 常万山・国防部庁は不在。▶ 房の同席は注目。▶ 何は昨今有望株。

# 1. 習近平政権の対外政策

---

- \*二つの見方
  - 1) 胡錦濤政権後期の対外政策の変化が習近平政権に継承される
  - 2) 胡錦濤政権から習近平政権で大きな変化
- \*胡錦濤政権期の変容
  - 1) 韜光養晦政策の継承、和諧演説(2005年)
  - 2) 2006—08年の対外協調政策をめぐる論争。最終的には温家宝路線後退。
  - 3) リーマンショックという契機。09-10年に対外政策強硬化、したとされる。
  - 4) 大国外交+周辺外交+途上国外交、マルチ外交といった大枠
  -